

医学部医学科 留学プログラム 情報共有シート

氏名 石井謙 学年 (留学当時) 4年

派遣期間 2018年 4月 1日(日)~2018年 7月 15日(日)

留学先 CCHMC

1 プログラム内容について

~~リサーチ・クラークシップでの留学~~

クリニカル・クラークシップでの留学

その他

実施内容：

培養肝細胞を用いて胆汁酸の誘導モデルの作成に取り組んだ。具体的には ALI を用いることによって胆汁酸の産生が誘導されると仮定し、LLI と比較実験を行った。実験内容としては PCR、免疫染色、電子顕微鏡を用いて違いを分析した。

2 宿泊施設について

寮

ホームステイ

ホテル

- ・広さ 約 200 m² 3 人部屋
- ・費用 約 200000 円 / (1日・1週間・1か月間)

3 生活について

(1) 生活費 (寮費を除く)

項目	金額	内訳
食費	週 7000 円	食材、水
学用品購入費	0	
交通費	0	
その他	0	
合計	週 7000 円	

(2) 治安状況・危険地域など

病院の周辺は CCHMC の警備員が巡回しているため、比較的安全であった。しかし警備員が不在となる午後 10 時以降は人通りがほぼなくなり、治安状態はよいとは言えない。夜間の外出は控えるべきだと感じた。

(3) 一日のスケジュール(月～金)

6:00						12:00					17:00
	起床	朝食	研究			昼食	研究				

18:00						24:00
研究		夕食	自由時間	就寝準備	就寝	

(4) 休日の過ごし方

基本的にはラボに行って研究を行っていた。シンシナティの市内でお祭りが開催されているときはラボの方に連れて行ってもらったり、バーベキューに招待して頂いたりした。

4 感想等

① 留学を通じて感じたこと

CCHMC はアメリカ人だけではなく世界中の国々から研究を行いにやってくる。そのため世界中の方と交流することができた。疎の中でそれぞれの国での働き方やものの考え方を知ることが出来た。それらが日本では有り得ないことや知りえないことであったので、多角的な視点を得ることが出来たと感じた。

② 今後、この経験をどのように活かすか

配属された浅井ラボの責任者である浅井先生は研究だけでなく臨床医も兼ねているため限られた時間で効率よく研究を行っていた。そのため、ただ研究の手技や考え方を学んだだけではなく、どのようにすれば無駄なく研究を行っていくことが出来るのか計画の作成法を学んだ。将来臨床をやるにあたって様々なことを考えながら行動できるようになると感じた。

③ 後輩へのアドバイス

CCHMC でリサーチ・クラークシップを行うにあたり、最初は身体的にも精神的にも大変なことが多いと思うが、そういった環境で研究を行ったからこそ大きな発見や成長をすることが出来ると思う。海外ということもあり不安なことが多いとは思いますが、迷っているのであれば積極的にこのリサーチ・クラークシップの海外留学の機会を活かしてほしいと思う。